

令和3年度 第3回三重県特定（産業別）最低賃金専門部会議事録
（ 電気機械器具製造業 ）

1 開催日時 令和3年 10月 13日（水） 10時00分～12時00分

2 開催場所 津市島崎町 327-2 津第二地方合同庁舎 地下共用会議室

3 出席委員

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 公益代表 | 中村 玲子 | 三好 正人 | 安井 広伸 |
| 労働者代表 | 浅野 啓介 | 金森美智子 | 田原 義洋 |
| 使用者代表 | 大西 宏弥 | 倉光 優次 | 松山 佳史 |

4 議題

(1) 金額検討について

5 開 会

(賃金係)

定刻になりましたので、只今から令和3年度第3回三重県電気機械器具製造業最低賃金専門部会を開催させていただきます。

本日の委員の出席状況でございますが、全員の方が出席いただいております。

従いまして、この部会は、最低賃金審議会令第6条第6項の定足数を満たし、有効に成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

これより議事に入りますが、議事進行につきまして部会長よろしく願いいたします。

6 議 事

(1) 金額検討について

(部会長)

おはようございます。

(皆)

おはようございます。

(部会長)

先週に引き続きまして、委員の皆様には、ご多用の中、本専門部会にお

集まりいただきまして誠にありがとうございます。

コロナの状況も少しずつ落ち着いてきているといいますか、新規感染者数も随分減ってきて少し安心している状況でございますが、逆にいよいよ寒くなってきたと言いますか、昼と夜の寒暖差が非常に大きい状況が続いております。引き続きお体には十分ご注意をいただきたいと思っております。

先日、報道をみておりましたら、今年のノーベル経済学賞、アメリカの経済学者の先生方が受賞をされたということで、その研究材料が最低賃金の研究ということの話題が新聞に出ておりました。我々もノーベル賞の一翼を担うのかなんかの感覚で私なんかは捉えさせていただいていたところなのですが、それほどこの最低賃金が注目を浴びているという証拠でもあるんだろうと感じさせていただいたところでございます。

そのような状況で皆様方に本日も熱心なご審議を頂くこととなります。よろしくお願いいたします。

前回は、時間も限られておりましたし、事実上の初回ということもありまして、まだまだ十分な審議までにいたりませんでした。

本日は第3回目の専門部会になります。

本日は、金額審議をできるだけ進めてさせていただきまして、是非ともこの専門部会における結論まで導き出せばいいなと思っております。

我々公益の方もできるだけ努力いたしますが、労・使の皆様のご理解とご努力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この後、もう1回、来週に予備日として20日の午前10時00分を確保しておりますが、その日は予備日と考えておりますので、できましたら、本日結論が出れば良いかなというふうに思っております。

それでは、議事に入ります前に、運営規程第8条に基づきまして本日の議事録署名人を指名させていただきます。

労側 金森委員

使側 倉光委員

よろしくお願ひいたします。

労使それぞれに分かれて検討いただきますけれども、その前にご発言がございましたら受け賜ります。

よろしいでしょうか。

それでは、一旦、休会といたします。

— 労使個別協議会場へ —

— 全体会場へ集合 —

(部会長)

全体会議に戻りまして再開いたします。

本日は労使双方に分かれていただき、金額検討をお願いいたしました。それぞれの立場で、この産業への熱い思いを聞かせていただいたところがございます。まだ金額ということになると、両者の間に大きな差が出ている状況でございます。本日のところは、双方の意見がまとまりませんでしたので、これをもって終了とさせていただきます。

次回は予備日といたしまして、10月20日(水)午前10時00からになりますので、皆様にお集まりいただき一層の歩み寄りをお願いし、良い結論ができるようにご協力をお願いしておきます。我々公益代表といたしましてもできるだけの努力はさせていただきます。

会場は、本日と同じ、地下共用会議室でございます。よろしく願いたします。

それでは、これもちまして本日の専門部会を終了させていただきます。

ありがとうございました。

(皆)

ありがとうございました。

以 上